

令和3年度 外部有識者による主な意見とその対応状況

令和4年1月12日

(アンケート設問) 本学との連携活動(共同研究等)を進めるにあたり、課題や要望等がありましたら自由にご記入ください。

NO	イベント	主な意見(大学に対する要望)	対応状況
1	産学官金連携交流会	バイオガスプラントの発酵微生物の研究。	寄附講座「資源循環環境学講座」にて、バイオガスプラントの発酵微生物に関する共同研究を実施しています。
2	産学官金連携交流会	一般企業でも中小企業でも連携できるように敷居を低くしてほしい。	産学連携センターでは、事業規模に関わらず、一般の企業・団体などの皆様から技術相談を受け付けており、内容を詳しくヒアリングをした上で、共同研究など連携の可能性検討を行い、課題解決に向け最適な教員におつなぎしています。 *ご相談内容によっては、別の機関を紹介する場合があります。
3	産学官金連携交流会	WEB会議システムを使って、遠隔地の企業とも共同研究できる環境を整備していただきたい。	本学では、WEB会議に参加/開催可能な環境が整備されています。共同研究で実施する内容にもよりますが、WEB会議やメールを主なコミュニケーションツールとして使用しながら遠隔地の企業等とも共同研究を行っています。
4	産学官金連携交流会	共同研究を依頼する際に、適切な研究室を提案頂けるコーディネーターの方を設置してほしい。	産学連携センターでは、共同研究などを検討されている企業の方から、技術相談を受け、内容に応じて最適な教員・連携方法をご提案できるコーディネーター等の職員を配置しています。 *産学連携センターHPをご確認いただき、技術相談窓口よりお問い合わせください。
5	産学官金連携交流会	講演のタイトルが何の業種と関連があるのか分かりにくいものがあるため、具体的に「おから」「飼料」など、企業が自らの業種関わりがあることが分かるようなサブタイトル等を付けてはどうか。	今後の交流会等の企画を検討する上で参考にいたします。

(アンケート設問) 令和4年度に本学・小樽商科大学・北見工業大学の三大学で経営統合を予定しています。商・農・工の分野を超えた取り組みでチャレンジしてみたいことや期待することがあれば自由にご記入ください。

6	産学官金連携交流会	研究成果とマーケティングの融合。	今後、更なる研究成果の社会実装に向けて、取組みを強化していく予定です。特に、令和4年度より、小樽商科大学、北見工業大学、本学との三大学経営統合により、商・農・工の分野を超えた連携が可能になります。現在、商学分野の教員とも連携しながら、検討を進めています。
7	産学官金連携交流会	より価値ある物の開発企画や流通販売などの実事業に活きる研究。	令和4年度より、小樽商科大学、北見工業大学、本学との三大学経営統合により、商・農・工の分野を超えた連携が可能になり、商学分野の教員とも連携しながら、検討を進めています。
8	産学官金連携交流会	AIを活用したマーケティング分析とスマート有機農業の先進的な研究。	オープンイノベーション・センターを通じ、具体的な要望に応じて各大学の関係者と検討いたします。
9	産学官金連携交流会	海外企業や大学とのオープンイノベーションとアントレプレナーシップ教育と起業支援。	本学では、海外の大学との連携については、原虫病研究センターやグローバルアグロメディシン研究センターを中心に取組みを進めています。三大学における国際連携についても、今後各大学の関係者と検討いたします。
10	産学官金連携交流会	三大学の経営統合により、新しい視点が生まれ、多角的に捉えられた研究が行われると思うので期待している。ぜひ市民へも情報を発信して頂きたい。	新法人において、各大学の教育、研究、社会貢献等の取組をホームページでの情報公開等により市民の皆様をはじめとするステークホルダーに積極的に発信し、地域懇談会等の場でご意見をいただく等、双方向の対話を通じて法人経営へのご理解、ご支持をいただきたいと考えております。
11	産学官金連携交流会	新規創業セミナー等にオブザーバーで参加して頂き、出席者と双方向の有益な情報交換を期待する。	三大学のオープンイノベーション・センターを通じ、各要望に応じて対応いたします。

12	産学官金連携交流会	キャンパスを超えた文理融合学部や大学院研究科の設置、学生・院生の単位取得交流の大幅自由化等にチャレンジしていただきたい。	可能な限り教養教育の共通化を図っていきたいと考えており、今後、小樽・北見と一致協力して、魅力的な取組みを行っていきたいと考えています。
13	産学官金連携交流会	広域連携が日本の農林水産のイノベーションの源となることを期待している。起業家や学生さん向けの産学連携カリキュラムやプログラムなどが出来てきたら、参加してみたい。	三大学経営統合に伴い、今後、三大学共同で一般の方や学生が参加可能なセミナー等を企画検討しています。
14	産学官金連携交流会	物理的に距離がある三大学が経営統合することは、他の大学だけでなく様々な組織が注目していることと思う。その経験と知見の共有をしていただき、様々な分野でのオープンイノベーション創発に貢献いただきたい。	三大学のオープンイノベーション・センターで取り組んで参ります。
15	産学官金連携交流会	体験型農園を活用したソーラーシェアリング事業を計画している。学生支援の一環として、地域の子供たちにアグリビジネスを教える機会を三大学の学生に提供したいと考えている。	外部の方が実施する学生支援策について、学生掲示板にて学内周知をすることが可能です。 *掲載内容の確認が必要となりますので、事前に学生支援課学生生活支援係までお問い合わせください。

(アンケート設問) その他、本学の運営や教育研究活動に対しての要望がありましたら自由にご記入ください。

16	産学官金連携交流会	農閑期に特別講座や授業等の企画があれば、参加したい。	フードバレーとかち人材育成事業やリカレント教育では、10~3月にかけて、農業経営者・生産者向けのセミナーやHACCP・食品安全プログラム等を実施しています。また、SDGsやAI活用セミナーなど、地域や農畜産業でニーズの高いテーマの特別講習を1~2月頃に実施する予定です。
17	産学官金連携交流会	乳牛や乳質、乳業機器などについて、講演いただきたい。	本学では、地域の酪農家や獣医師・団体職員向けに、デリースクール、生産獣医療研修を開催し、乳牛の適切な飼養管理、搾乳方法や乳房炎対策などについて紹介しています。また、小学生向けには、ふれあい牧場体験を毎年開催し、乳牛の体の仕組みや乳搾り体験など分かりやすく紹介しています。